

令和4年度静岡市発達障害者支援センター「きらり」活動報告

1. 令和4年度4月から10月までの相談実績

	相談支援	発達支援	就労支援
実人数/延べ件数	260人/702件	185人/364件	17人/60件
相談内容の傾向	医療機関、児発、放デイ等の情報を求める相談の増加。	学習の困難さを主訴とする相談の増加。	成人期までに支援を受けた経験のない相談者の多くが困難化している。

2. 令和4年度4月から10月までの研修実績

	開催回数	参加者数(Web視聴含む)
主催・共催	56回	2331人
講師派遣	48回	1735人

3. ペアレントメンター事業(現在修了者86名)

ペアレントメンター養成研修会

ペアレントメンターとは、自らも発達障害のある子の子育てを経験し、かつ相談支援に関する一斉のトレーニングを受けた保護者をさす。

年間3名の修了者養成を目標に実施。

養成研修6回のうち5回を終えている。

<主な派遣先>

- ・子育て支援センター親子遊びの会・園学校保護者会
- ・きらり主催茶話会・個別相談

ペアレントメンター新規活動内容

令和4年度の新たな取り組み(リソースブック(小冊子)発行)

ペアレントメンターが中心となり、静岡市内の乳幼児期におけるリソースブック(小冊子)を作成・編集を行っている。今年度中の発行を予定。また、令和5年度には学齢期・成人期のリソースブック(小冊子)を作成・編集・発行予定。※資料2-3

ペアレント・プログラム

ペアレント・プログラムとは、「行動で考える/行動で見る」ことに特化し、保護者の認知的な枠組みを修正することを目指した簡易なプログラム。

全6回シリーズを2クール実施。

参加者:保護者延べ22名、支援者延べ23名

令和4年度の新たな取り組み(コンサルテーション)

・「きらり」主催ペアレント・プログラムを受講した支援者が、所属する支援機関(放デイ1か所)において、ペアレント・プログラム(1クール6回)を実施。実施の際に、要請を受けて「きらり」スタッフがスーパーバイザーとしてバックアップ(6回とも訪問と助言)を行った。

○効果

・今回コンサルテーションを受けた支援機関の運営方法を確認・助言できたことで、次回以降は支援機関が単独で開催できるようになった。

・今まで「きらり」が行ってきた保護者向けの研修を支援員が行うことで、各所属の支援機関において研修を開催でき、地域で支援が受けられる機会を広げることができる。

令和5年度静岡市発達障害者支援センター「きらり」活動計画

1. 令和5年度基本計画

継続する活動計画

- 相談支援・発達支援・就労支援・啓発研修への継続した取り組み
- ペアレントメンターの養成と活用に関する事業への継続した取り組み(3名の養成と40回以上の派遣)
- 支援体制サポート強化事業における訪問支援を継続実施。

新規活動計画

- 大学出張窓口支援の実施。※資料4